

EDO ART EXPO 関連講座

江戸歴史講座 第40回

江戸の装いー女の美しさ、男の粋



江戸名所百人美女 霞ヶ関 歌川豊国 安政4年 ポーラ文化研究所蔵

江戸時代には商工業が飛躍的に発達し、文化を担う主役も武士階級から町人に移り変わりました。中ごろには、特に江戸は人口100万人を超える大都市へと変貌し、豊かになった町人たちによる新しい文化が誕生しました。そんな時代に女性たちは、どんな装いをしていたのでしょうか。化粧、髪型、衣裳などは、身分、階級、職業、また地域によっても違っていました。その様子は「浮世草子」「洒落本」「川柳」といった文献類や女性たちを美しく描いた浮世絵の美人画に見ることができます。なかでもファッションリーダーといわれた花魁を筆頭とする遊女たちの装いは、一般庶民の女性たちの憧れでもありました。また、男性の装いも、地味な中にも、こだわりを見せたお洒落がありました。そんな女の美しさと男の粋を探っていきます。

講師 村田孝子（ポーラ文化研究所シニア研究員）
1950年生まれ。1979年青山学院大学文学部教育学科卒。
1981年からポーラ文化研究所に勤務。ビューティサイエンス学会常任理事、東京都江戸東京博物館外部評価委員。主に、日本と西洋の化粧史・結髪史を調査し、セミナー、講演、展覧会、著作などで発表している。主な著書に『眉の文化史』『モダン化粧史』『日本の化粧』『結うところー日本髪的美しさとその型』（いずれもポーラ文化研究所）『江戸三〇〇年の女性美ー化粧と髪形』（青幻社）などがある。

開催概要

- 日時：2016年10月6日（木）14:00～15:30（13:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円（千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。